

タブレット端末のさらなる活用に向けて

武蔵村山市では市内の公立小中学校に通う児童生徒に対し、一人一台のタブレット端末を貸与し、ICT教育を推進しています。第三小学校の児童は、学習や特別活動などで活用しています。

【学習等についての基本的な考え方】

- ① 第三小学校では、まず、タブレット端末を『学習のツール』（学習道具）の1つとして活用します。（調べ学習、学習のまとめ、習熟度に応じた個別学習、写真や動画による記録などで活用します。）
- ② 小学校における学習の根幹は『書く』ことだと考えます。タブレット端末が導入されても、漢字練習や計算の筆算、ドリル学習など、書くことで定着を図り、今後も継続して取り組みます。
- ③ タブレット端末の活用の仕方は、学年や学習内容等によって異なります。
タブレット端末は基本的に学校での活用が中心となります。
- ④ 徐々に家庭への持ち帰りを進めていき、どの学年においても、基礎的、基本的な内容の定着を目指すことを中心に活用を進めていきます。また、充電につきましては、高学年は御家庭で充電していただくこととなります。何卒、御理解、御協力のほどよろしくお願い致します。

【タブレット端末の取り扱いについて】

- ① タブレット端末の持ち帰りは、学年に応じて進めます。
- ② タブレット端末は、ランドセルに入れて持ち運ぶこととなります。それに伴いまして、タブレット端末を持ち帰る日の教科書等の持ち帰りについては、家庭学習等で利用するもののみとなります。
また、御家庭でカバーや袋、緩衝材など、ランドセルに入れることを想定した入れ物などを御用意いただきますようよろしくお願い申し上げます。

御家庭で作成される場合には、キルティング生地など厚みのある生地をお勧めいたします。



※タブレットカバーの参考例です。

※タブレットパソコンの大きさは、縦 18.5 cm×横 25 cm×厚み 1.5 cm。100円ショップなどの小売店で購入することもできます。